



★ベーツ院長愛用の杖の寄贈

C. J. L. ベーツ第4代院長・初代学長が愛用されていた杖を、モントリオール在住のご令孫アルマン・デムストラルさんが学院史編纂室にご寄贈くださいました。詳細は6頁をご覧ください。

★訃報: マリオン・カミングさん(ニュートン第3代院長ご曾孫)



J. C. C. ニュートン初代神学部長、第3代院長の曾孫に当たるマリオン・カミングさん (Marion M. Cumming, 1936~2022) が8月1日にカナダのヴィクトリアで逝去されたとの知らせが複数のルートから学院史編纂室に寄せられました。86歳でした。ニュートン院長の娘ルースは二人の子ども(息子ニュートンと娘フローレンス)に恵まれました。マリオンさんはフローレンスの娘です。カナダ人と結婚され、母親と同じく画家として活躍されました。

マリオンさんの写真【左】は、川崎市在住の井上楓さんがご提供くださいました。井上さんのお嬢様、晶子^{しょうこ}さんはヴィクトリア在住のピアニストで、かつてマリオンさんのご自宅にホームステイされていたそうです。

★教え子による『サーロー先生思い出集』の制作

J3 宣教師として、1952年9月から55年5月まで中学部で英語を教えられたジム・サーロー先生 (James McKittrick Thurlow, 1928~2011) の教え子20名(主に関東と海外在住)が寄付を集め、『サーロー先生思い出集』(日本語・英語)を制作し、トロント在住のご遺族に送られました。バイリンガルの文集に感激されたご遺族【写真: 奥様の節子さんとご次男アンドリューさん】と教え子による「サーロー先生の思い出を語る懇談会」(Zoom)が9月17日午前9時から11時過ぎまで、トロント、ニューヨーク、西海岸、日本を結んで開催されました(参加者14名)。詳細は5頁をご覧ください。



★「ラトビアと日本: 100年の友好関係、人物と遺品」展の開催



2021年11月19日から22年2月27日まで、ラトビア共和国のリガ・ブルス美術館で特別展「ラトビアと日本: 100年の友好関係、人物と遺品」が開催され、大正時代に関西学院で教えていたイアン・オズリン(ラトビアでは作家ヤーニス・ブルトニクスとして知られている)が、100年前に日本から持ち帰り、国立美術館に寄贈した七福神の小像等10点が展示されました【写真左: リガ・ブルス美術館提供】。

12月7日、ラトビアテレビでこの特別展の様子が放送され、学院史編纂室提供の写真(オズリンと関西学院教職員)が大きく紹介されました。



★3年ぶりに関西学院史研究会開催

新型コロナウイルスの流行拡大のため、延期されていた第53回関西学院史研究会「関西学院と寿岳文章—宗教的真理の追究」(講師: 中島俊郎・甲南大学名誉教授)が、11月4日(金)13時20分より大学図書館ホールで開催され、学内外から約50名が参加しました。

第54回関西学院史研究会「戦前の関西学院から世界の楽壇へ—いま蘇る天才作曲家 大澤壽人の煌きの軌跡—」(講師: 生島美紀子・大澤資料プロジェクト代表)は、12月9日(金)13時20分より大学図書館ホールで開催されます(一般参加歓迎・申し込み不要)。

★神戸市立小磯記念美術館での展示

神戸市立小磯記念美術館で関西学院卒業生(竹中郁、石阪春生)をテーマにした展示が行われています(月曜休館、祝日の場合は開館し、直近の平日を休館)。

- ・開館30年特別展「竹中郁と小磯良平—詩人と画家の^{メモワール}回想録—」、2022年10月8日~12月18日
- ・コレクション企画展示「石阪春生と新制作の神戸」、2023年1月4日~4月16日